

# 楓の森アップデート

学校教育目標：夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成



合志市立合志楓の森小学校  
学校だより 第19号

令和6年(2024年)1月10日  
文責 校長 佐藤 政臣

令和6年が始まりましたが、元日に、大災害が起こってしまいました。

このたび、能登地方を震源とする大規模地震により犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、被災地域に皆様の安全確保、そして一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

## 地震にどう備えるのか・・・ 再考しましょう

能登地方を震源とする地震が起こり、今から約8年前、平成28年(2016年)の熊本地震を思い出しました。

平成28年4月14日午後9時26分に前震が起きました。その時刻、学校にいた私は、大津町教育委員会から連絡を受け、体育館を避難所として開放し、そのまま泊まり込みました。次に4月16日午前1時25分に本震があり、夜中に学校に駆けつけ、避難者の対応に努めました。

今の小学生は、まだ生まれていなかったり、まだ幼かったりと、熊本地震の記憶があまりないかもしれません。地震は、前触れもなく発生する災害です。ですから地震が起きる前の備えることが大切になります。以下は、主な地震への備えです。

### 主な地震への備え

- ①家具等の転倒・落下防止
- ②食料や水の確保
- ③火事やケガへの備え
- ④ヘルメットや避難時の防災リュックの用意
- ⑤避難場所の確認 等

このようなことについて、子どもといっしょに考え、チェックすることが大切です。家族で共通理解しておくことで、地震が起きた際に、慌てず見通しをもって行動することができます。

今一度、防災について、子どもも含めてご家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか。

## 冬休み明け集会の校長講話 より

冬休みが明け、元気な子どもたちで学校が賑やかになりました。事故等もなく子どもたちの笑顔に出会えたことを感謝したいと思います。冬休み明け集会では、まずもって能登地方を震源とする

大規模地震により犠牲となられた方々への哀悼の意を表すために全校児童、教職員で黙祷を捧げました。

次に、「1年の計は元旦にあり」、新しい年を迎えるにあたって、「今年はこんなことをがんばるぞ!」という目標をたて、その目標の実現に向かって一生懸命に努力してほしいことを伝えました。

そして、後期の後半は、進級や卒業に向けて、とても重要な時期になるので、次に示す3つのお願いをしました。



一つ目は、最後まで「しっかりと学ぶ」ということです。現学年の学習内容について、わからないままにしておかないで、しっかりと身につけて次の学年へと進んでもらいたいと思います。



二つ目は、「仲間を大切に」ということです。合志楓の森小学校のみんなはとても仲良く、楽しく学校生活を送ってくれていると思います。しかし、なかにはつらい思いをしている人もいないかな? 「思いやりの心」をもって学校生活を送ることが大切です。「自分の隣にいる友達は困ってないかな?ひとりぼっちになってないかな?」などと、友だちの様子もよく見て、お互いに声をかけ合ひましょう。

三つ目は、「感謝の心をもつ」ということです。6年生は、これまで最上級生として、この1年間さまざまな場面でリーダーシップを発揮してくれました。1年生から5年生までの人は、6年生のこれまでの頑張りに対して「6年生ありがとう」と感謝の心を持つことが大切です。感謝することは、6年生の頑張りを認めることとなり、5年生のみなさんは、「次は自分たちがリーダーになる」ことへの自覚に繋がります。他の学年のみんなも何年後かに自分たちが6年生になりその時の力になるはずですよ。



もう今の学年で勉強するのは、あと残り3か月になりました。この3か月は、1年で一番大切な時期です。6年生にとっては、残りわずかの小学校時代になります。悔いが残らないように最後まで精一杯がんばってほしいと思います。

